

豊見城市バス乗り方教室（案）

1.1 開催の目的

沖縄県では公共交通の利用率が低く、運転免許を取得可能な年齢に達すると自家用車での移動となる傾向が高いことが知られている。そこで豊見城市では子供のうちからバスの利用に慣れてもらい、生活の中でバスを利用することが当たり前となることで、公共交通の利用率を促進するように、沖縄バス㈱の協力により、小学生向けのバス乗り方教室を開催する。

1.2 実施内容

バス乗り方教室では、以下の内容でバスを利用して移動するための体験会を実施する。所要時間は40～50分程度、1回につき児童30人前後まで対応可能（バス車内の座席数の都合）である。

(1) 乗車方法について

小学校の校庭等にバスを乗り入れて、バス停でのバスの待ち方や時刻表の見方を解説する。また実際のバス乗車・降車と料金支払い等の流れを体験する。



(2) バス車内でのマナーについて

実際に乗車して校庭等を周遊しながら、バス車内でのマナーについて解説する。バスが走行中に立ち上がると危ないなどの体験をしてもらい、バス車内でのマナーやふるまいについて学習する。



(3) 運転席での運転手体験

児童がバスの運転席に座り、現役運転手の指導のもと、バス運転に関する操作を体験する。運転席からは見えない死角があることなどを実際に見て、バス周辺が危険なことを実感させる。



(4) 車いす乗降体験（オプション）

車いす利用者がバスに乗る時の状況を体験する。（車いすは市側で準備）



（写真出典：沖縄バス(株)HP）

1.3 実施計画

沖縄バス(株)と打ち合わせを行い、以下のように実施計画を作成した。

実施日：12月19日（火）

実施場所：豊崎小学校

対象クラス：4年生4クラス（バス4台に分乗）

実施時間：3校時

実施メニュー：乗車・降車体験、学校周辺＋沖縄バス営業所を走行、運転席からの視界体験、
車いすでの乗降体験